

報告品目・新キット製品が薬価収載されましたのでお知らせいたします。

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
1	117	内用薬	ストラテラカプセル40mg	40mg1カプセル	448.40	日本イーライリリー	アトモキセチン塩酸塩	小児期における注意欠陥/多動性障害(AD/HD)	通常、小児にはアトモキセチンとして1日0.5mg/kgより開始し、その後1日0.8mg/kgとし、さらに1日1.2mg/kgまで増量した後、1日1.2～1.8mg/kgで維持する。  ただし、増量は1週間以上の間隔をあけて行うこととし、いずれの投与量においても1日2回に分けて経口投与する。  なお、症状により適宜増減するが、1日量は1.8mg/kg又は120mgのいずれか少ない量を超えないこと。	既存の5mg、10mg、25mgカプセル製剤に新たな規格(40mgカプセル)を加えるもの(再審査期間中の規格追加)
2	219	内用薬	ホスレノール顆粒分包250mg	250mg1包	194.10	バイエル薬品	炭酸ランタン水和物	下記患者における高リン血症の改善  ・透析中の慢性腎不全患者	通常、成人にはランタンとして1日750mgを開始用量とし、1日3回に分割して食直後に経口投与する。以後、症状、血清リン濃度の程度により適宜増減するが、最高用量は1日2,250mgとする。	既存のチュアブル錠に新たな剤形(顆粒製剤)を加えるもの(再審査期間中の剤形追加)
			ホスレノール顆粒分包500mg	500mg1包	284.80					
3	232	内用薬	アルタットカプセル37.5mg	37.5mg1カプセル	27.30	あすか製薬	ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩	1. 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎 2. Zollinger-Ellison症候群 3. 麻酔前投薬 4. 下記疾患の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善 急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期	1. 通常、成人にはロキサチジン酢酸エステル塩酸塩として1回75mg(本剤375mg)を1日2回(朝食後、就寝前又は夕食後)経口投与する。また、1回150mg(本剤750mg)を1日1回(就寝前)経口投与することもできる。 通常、小児にはロキサチジン酢酸エステル塩酸塩として、体重30kg未満では1回37.5mg(本剤187.5mg)を、体重30kg以上では1回75mg(本剤375mg)を1日2回(朝食後、就寝前又は夕食後)経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。  2. 通常、成人にはロキサチジン酢酸エステル塩酸塩として1回75mg(本剤375mg)を1日2回(朝食後、就寝前又は夕食後)経口投与する。 通常、小児にはロキサチジン酢酸エステル塩酸塩として、体重30kg未満では1回37.5mg(本剤187.5mg)を、体重30kg以上では1回75mg(本剤375mg)を1日2回(朝食後、就寝前又は夕食後)経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。  3. 通常、成人にはロキサチジン酢酸エステル塩酸塩として1回75mg(本剤375mg)を手術前日就寝前及び手術当日麻酔導入2時間前の2回経口投与する。また、1回150mg(本剤750mg)を手術前日就寝前に1回経口投与することもできる。 通常、小児にはロキサチジン酢酸エステル塩酸塩として、体重30kg未満では1回37.5mg(本剤187.5mg)を、体重30kg以上では1回75mg(本剤375mg)を手術前日就寝前及び手術当日麻酔導入2時間前の2回経口投与する。  4. 通常、成人にはロキサチジン酢酸エステル塩酸塩として1回75mg(本剤375mg)を1日1回(就寝前又は夕食後)経口投与する。 通常、小児にはロキサチジン酢酸エステル塩酸塩として、体重30kg未満では1回37.5mg(本剤187.5mg)を、体重30kg以上では1回75mg(本剤375mg)を1日1回(就寝前又は夕食後)経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。  下線部は顆粒のみの記載。	販売名を変更するもの(カプセル)及び既存のカプセル製剤に新たな剤形(顆粒製剤)を追加するもの(再審査期間中の名称変更、再審査期間中の剤形追加)
			アルタットカプセル75mg	75mg1カプセル	44.60					
			アルタット細粒20%	20%1g	118.90					
4	132	外用薬	エリザス点鼻粉末200µg28噴霧用	5.6mg1瓶	1,758.40	日本新薬	デキサメタゾンシベシル酸エステル	アレルギー性鼻炎	通常、成人には1日1回、各鼻腔に1噴霧ずつ(1噴霧あたりデキサメタゾンシベシル酸エステルとして200µg)投与する。	既存のカプセル製剤に新たな規格(キット化され簡便に連続して噴霧可能な200µg製剤)を追加するもの(再審査期間中の規格追加)
5	247	外用薬	ル・エストロジェル0.06%	0.06%1g	27.80	資生堂	エストラジオール	更年期障害及び卵巣欠落症状に伴う血管運動神経症状(Hot flush及び発汗)	通常、成人に対しル・エストロジェル2プッシュ(1.8g、エストラジオールとして1.08mg含有)を1日1回、両腕の手首から肩までの広い範囲に塗擦する。なお、症状に応じて、適宜減量する。減量する場合は、ル・エストロジェル1プッシュ(0.9g、エストラジオールとして0.54mg含有)を1日1回、両腕の手首から肩までの広い範囲に塗擦する。	平成18年10月に承認されたが、薬価基準収載の希望がなく、今般収載希望が提示されたもの

・(参考)

報告品目とは、薬事・食品衛生審議会に正式諮問しないで、調査会に相談して処理する医薬品。既承認品目と同じ薬理作用に基づく効能効果の追加申請等の場合に行われる。例えば、剤形追加、規格追加、製品のキット化など。

・内容についての詳細な情報又は正確な情報は、添付文書等をご参照下さい。

・薬価に関する情報は「官報」でもご確認下さい。  
 ・承認に関する情報は「医薬品医療機器情報提供ホームページ」の新薬の承認に関する情報もご参照下さい。  
 ・医薬品薬価マスターに関する情報は「診療報酬情報提供サービス」をご参照下さい。  
 ・医薬品コードに関する情報は「薬価基準収載医薬品コード表(MEDIS-DC提供)」をご参照下さい。